

クラブインフォメーション

発行:(公財)鳥取県体育協会 〒680-0944 鳥取市布勢 146-1

TEL:0857-28-1288 FAX:0857-28-1399 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com



平成26年3月
第55号

クラブ紹介コーナー

ウルトラC&Sクラブ*ウルトラキッズサッカー教室



風船でヘディング練習



決まってる～



エイ!シュート!

平成26年2月2日(日)、境港第2市民体育館でサッカー教室が開催され、境港市と米子市の保育園年中さんから小学1年生までの65名が参加しました。

田中さん、拝藤さん、西村さん、小原さん、大橋さん、織田さん、美濃さん(ウルトラC&Sクラブのサッカー指導者)7名の指導の下、楽しくサッカーを教えてもらい運動をする楽しさを体験しました。

まず、鬼ごっこで身体が温まった後、小学1年生と保育園のグループに分かれて、風船を使ってヘディングや足で蹴ったりして感覚をつかんだ後、サッカーボールを使って基本的な足さばき、ドリブル、ゴールに蹴ってみる等して身体を動かしました。

自分の順番が回ってくるのを今か今かと待ち、夢中でサッカーボールを蹴っていたのが印象的でした。

最後に、集合写真入りの認定書が参加者全員に贈られ良い記念になったと思います。

今回の教室を通して、身体を動かすことに興味を持ってくれる、サッカーを好きになってくれるきっかけになるといいです。

連絡先

ウルトラC&Sクラブ事務局

小原 あかね

TEL・FAX:0859-57-5170



スポーツしよい大山＊スノーウォーク



いよいよ出発です！



一面の白銀



木々が密集しています



ツルが邪魔～



お尻が抜けな～い



下っていきます

平成26年2月9日（日）、大山青年の家周辺でスノーウォークが開催され、小学生から年配の方まで13名が参加しました。

「大山青年の家」の松本 崇さん（大山青年の家の専門指導員）のガイドで、大山青年の家から「リスの森」（通称）までの往復約500mを、スノーシューで歩きました。

運が良ければ、うさぎやキツネ等の小動物に出会えることがあるそうですが、今回は残念ながら見ることはできませんでした。

一面白銀の世界に足跡をつけながら進み、そう高くはない山の木々の間の道を見つけて登り、頂上から回りの景色を見ながら一休憩、まるで別世界でした。

木が雪で埋もれている近くに足を置いてしまうと陥没してはまりこんでしまい抜け出すのに大変だったり、山の登りでは目測を誤ると滑ってなかなか上がれなかったり、下りでは登り以上に歩くことが困難で、ほぼ全員お尻で滑って下りました。

歩き終わった後は、大山青年の家の食堂で皆が自分たちで昼食の準備をして楽しく美味しく頂きました。

冬の大山になかなか来る機会がなく、今回はとても良い経験になりました。

幻想的な風景で日常を忘れ、とても清々しい気持ちになりました。

スノーシューは初心者でも安心して始められるので、冬のスポーツとしては是非体験してみることをお勧めします。

※スノーシューとは、雪の上を楽に歩くための雪上歩行具のひとつ。アルミのフレームに布などが張っており、雪上での浮力が高い。かかとが稼働するので行動しやすい。（西洋「かんじき」と呼ばれることもある）

連絡先

スポーツしよい大山事務局

源光 靖

TEL：0859-54-5212

FAX：0859-54-5217



一般社団法人 山陰リンクの会＊打吹杯バドミントン交流大会



平成26年2月11日(火)、倉吉体育文化会館で一般社団法人山陰リンクの会主催の、「第48回打吹杯バドミントン交流大会」が開催されました。

打吹杯バドミントン交流大会は、小学生の部と中学生の部を合わせて年に5回開催されていて、今回はダブルス部門で県内全域の小学1年～6年生までの136名が参加し、予選リーグ戦をした後、決勝トーナメント戦が行われました。

試合をしている時の顔はみんな真剣で、小学生とは思えない技の応酬が続いたり、威力のあるスマッシュが打ち込まれたりと大人顔負けのプレーに見入ってしまうほどでした。

この打吹杯バドミントン交流大会の良いところは、予選リーグ戦にして、参加した子どもたちが1回戦で終わることのないように競技方法に配慮していることです。

準備・後片付け・審判など選手が責任を持ってやり、当クラブの小鴨ジュニアバドミントンクラブの保護者にボランティアで試合結果の集計をしていただくなど、スムーズに大会が運営されました。

これほど大規模な大会を運営し、定着させていることはクラブにとって大きな強みだと思います。

これからも、長く続く大会でありますように・・・

♡参加者の声♡

地元のバドミントンクラブで週5回練習しています。この大会には毎回参加して表彰状をもらっています。普段の試合はシングルスなのですが、今回はダブルスに出場しました。シングルスとは違った楽しさを味わえて良かったです。(小学6年生女子)

連絡先

一般社団法人 山陰リンクの会事務局

杉谷 哲治

TEL・FAX : 0858-28-6633



スポnetなんぶ＊ものづくり教室



平成26年2月18日(火)、南部町社会福祉法人しあわせで、“ものづくり教室”が開催されました。

亀尾由紀(南部町在住)さん指導の下、町内の小学3年～5年生までの女の子8名が参加して、牛乳パックを利用して小物入れを作りました。

牛乳パックを数ミリ単位で計測して裁断するのに少々疲れ気味でしたが、各パーツに布を張る作業では、可愛い布選びにテンションが上がり、最後の飾り付けでビーズを選ぶ姿は“さすが女の子”という感じでした。

計測を正確にしていないと組み立てる時サイズが合わなく大変でしたが、苦勞して出来上がった作品にとっても満足していました。

次は何を作るのか毎回楽しみに参加してくれて、継続して出てきてくれるのでとてもうれしいです。(亀尾さん)

♡参加者の声♡

今日は、細かい作業で時間がかかって大変だったけど、可愛い小物入れができてうれしい。

連絡先

スポnet なんぶ事務局

神田 真紀

TEL : 0859-64-3780 FAX : 0859-64-2183

ウルトラC&Sクラブ＊土屋健二サッカー教室



平成26年2月23日(日)、境港市民体育館で「土屋健二サッカー教室」が開催されました。

境港・米子・松江から保育園児から小学2年生までの約50名が参加して、ウェーブリフティング(全身の揺れをともなったリフティング)とジンガ(ボールキープのための技)を教わりました。

とにかくたくさん足の技を披露し挑戦してもらうことを繰り返しました。

土屋さんの巧みな技に感心しながら、好奇心旺盛に挑戦し続けた1時間半でした。

今まで見たことがない土屋さんの体の動きと華麗な技に皆釘付けでした。

本当に全力で教えている姿に感銘を受け、おごらない人柄にとっても好感を覚えました。

世界レベルの選手から技を教えてもらい貴重な体験になったと思います。

※土屋健二さん：世界的なリフティング大会で何度も優勝、全国のサッカークラブで指導・デモンストレーターとして活躍している。

連絡先

ウルトラC&Sクラブ事務局

小原 あかね

TEL・FAX : 0859-57-5170

ウルトラ C&S クラブ＊出前サッカー教室



平成26年2月26日（水）、外江保育園でサッカー教室が行われました。

幼児の時から身体を動かすことの楽しさを知ってもらうこと、サッカーを好きになってもらうために、境港市内の保育園に出かけて行って指導をしています。

田中秀孝さん（ウルトラ C&S クラブ会長）と拝藤みゆきさん（ウルトラ C&S クラブクラブマネジャー）に教えてもらいながら、空組・海組の年長さん32名が楽しく体を動かしました。

子どもたちは、月に2回の教室をとっても楽しみに待っていて、有り余った体力を思う存分使いきりました。

ラダーを使ってジャンプ、しっぽ取りゲーム、コーンの間を縫って走る、ボール蹴りリレー、試合など盛りだくさんのメニューをこなしました。

子どもたちはほんとに元気です。（つくづく実感）

幼少期から身体を動かす機会が増え、スポーツ好きの子どもが増えるといいですね。

子どもたちが楽しみに待っているのが嬉しい。今日は天気がよく、子どもたちが思いっきり外で身体を動かして良かったです。サッカーを好きになってくれたら嬉しいです。（田中さん、拝藤さん）



連絡先

ウルトラ C&S クラブ事務局

小原あかね

TEL・FAX：0859-57-5170